

国語総合

使用教科書・副教材	単位数	学年・学級・学科・選択名等
<ul style="list-style-type: none"> ・新編「国語総合」(大修館書店) ・新訂「最新国語便覧」(浜島書店) 	3	1年1組、2組

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し、的確に表現する能力を育成し、伝え合う力を養う。 ・現代文を通して文意の内容を把握することから、心情を豊かにし、思考力や想像力を伸ばす。 ・古文・漢文の鑑賞を通して日本の文化について興味関心を持ち、国語を尊重する態度を育てる。
----------------	---

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点					評価方法	
					①	②	③	④	⑤		
前期	4	〈オリエンテーション〉	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の興味を高める。 ・授業の進め方、教科書の説明、ノートの取り方を知る。 ・評価について理解する。 	○						・提出物
	5	〈知識〉 「自己紹介を書こう」	6	<ul style="list-style-type: none"> ・「原稿用紙」の使い方のきまりを身につける。 ・効果的な伝え方について理解する。 	○	○	○		○		・読み取り ・発表と聞く姿勢
		〈現代文〉 「ワンダフルプラネット」 (野口聡一)	8	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 ・話の展開に即して、登場人物の心情を理解する。 	○				○	○	・ノート ・ワークシート
	6	〈古文〉 「古文に親しむ」	4	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を学ぶ意義を知り、古文に親しむ。 ・歴史的仮名遣いを覚える。 	○				○	○	・読み取り ・音読
		「ねずみの婿取り」(沙石集)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・古典作品を読み、古文に親しみ、的確に内容を読み取る。 	○				○	○	・ワークシート
	前 期 中 間 考 査							○	○	○	・定期考査
	7	〈漢文〉 「格言」	6	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文訓読のきまりを習得し、リズムに親しむ。 ・格言の内容を理解し、今日にも通じる意義を学ぶ。 	○				○	○	・音読 ・ワークシート
		〈小説〉 「子供たちの晩餐」(江國香織)	8	<ul style="list-style-type: none"> ・現代小説を読み、作品の構成や展開を正しくとらえ、登場人物の心理の変化を味わい、読書への意欲を高める。 	○				○	○	・音読 ・ワークシート
	8	〈詩〉 「詩歌との出会い」	6	<ul style="list-style-type: none"> ・詩、短歌、俳句を読み味わい、題材や詩形に注意しながら、それぞれの形式や表現の特色を理解する。 ・創作活動をする。 	○	○	○	○	○	○	・発言、発表の確認 ・ワークシート
		〈現代文〉 「心が生まれた惑星」 (NHK取材班)	8	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章の構成を理解し、著者の意見を知る。 ・文章の内容を的確に読み取り、人間の心についての理解を深める。 ・語彙力の向上を図る。 	○				○	○	・発言、発表の確認 ・ワークシート
前 期 期 末 考 査							○	○	○	・定期考査	
後期	10	〈古文〉 「児のそら寝」(宇治拾遺物語)	10	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むための知識を身につける。 ・正しく音読し、的確に内容を読み取る。 ・語彙力の向上を図る。 	○				○	○	・教材読み取り ・音読の観察 ・小テスト
	11	〈現代文〉 「羅生門」(芥川龍之介)	10	<ul style="list-style-type: none"> ・近代文学の名作に触れ、場面や登場人物の心情の変化を表現に即して読み味わう。 	○				○	○	
後 期 中 間 考 査							○	○	○	・定期考査	

後	11	〈現代文〉 「季節の言葉と出会う」 (黛まどか)	4	・日常から、身の回りの言葉に注意を向け、言葉を大切にすることを養う。	○		○	○	・発言、発表の確認 ・ワークシート
	12	〈漢文〉 「故事成語」	6	・漢文の基礎事項を確認する。 ・音読で訓読のリズムに慣れる。 ・現在にも通じる教訓を読み取り、日常の言語生活に生かす。	○		○	○	・音読 ・ワークシート
	1 2	〈古文〉 「高名の木登り」(徒然草) 「にくきもの」(枕草子)	6	・現代にも通じる古人の感性を理解する。 ・古今の異義語に触れることで、言語感覚の幅を広げる。	○		○	○	・教材読み取り ・音読の観察 ・小テスト
〈現代文〉 「水の東西」(山崎正和)		6	・ユニークな発想に注目し、筆者の主張を正確にとらえる。 ・身の回りの物事に興味を持ち、深く考える姿勢を身につける。	○		○	○	・発言、発表の確認 ・ワークシート	
学 年 末 考 査						○	○	・定期考査	
期	3	〈言語〉 「敬語、文法」	8	・場に応じた言葉を使うことで他人に与える印象について学ぶ。 ・言葉を正しく使うことで、他人に正しく伝えられることを学ぶ。	○	○	○	○	・発言、発表の確認 ・ワークシート

3 評価等について

項 目	①関心・意欲・態度	②話すこと・聞くこと	③書くこと	④読むこと	⑤知識・理解
内 容	国語や言語文化に関心を持ち、進んで表現、理解するとともに、伝えようとする。また、受け止めようとする。授業を大切に	考えをまとめ、目的や場面に応じた話し方をしたり、的確に聞き取ったりする。	自分の考えを深めたり、発展させたりしながら、適切に文章を書く。	様々な文章を読んで、内容を理解する。	表現や理解に役立てるための音声、表記、語彙、漢字などを理解し、知識として身につける。
割 合	30%(点)	10%(点)	60%(点)		

- (1) 毎時間の授業の中で約10分間、漢字や語句の練習をし、次時の始めに小テストを行う。

(知識・理解)

- (2) 授業時間内に漢字練習などが終わらない場合は、自宅などで自学し、次時にそのプリントを提出する。

(関心・意欲・態度)

4 履修にあたっての注意事項

- (1) 毎時間の授業で、課題の提出をすること。
- (2) 漢字小テストに意欲的に取り組むこと。
- (3) 先生の話や友人の意見をしっかりと聞くこと。
- (4) 毎時間の授業を大切に、意欲的に取り組むこと。

評価について

評価	評価点
10	100 ～ 93
9	92 ～ 85
8	84 ～ 77
7	76 ～ 70
6	69 ～ 61
5	60 ～ 53
4	52 ～ 45
3	44 ～ 38
2	37 ～ 30
1	29 ～ 0

学年末評定について

評価	評価点
5	100 ～ 85
4	84 ～ 70
3	69 ～ 45
2	44 ～ 30
1	29 ～ 0

※以上の点を守れない場合には、未履修となる可能性があるため、注意してください。